広報

キラキラ☆たまみず（ぼし）

平成28年3月20日
第42号

発行［玉水まちづくり協議会］

発行責任者：会　長　　前　岡　弘　國
連絡先：☎・Fax（079）506－3163

［担架作りを体験する城北畑小学生］

城北畑小学校で、「ひょうご安全の日」地域のつどい 行われる

1月18日(月)

ジリジリジリー！避難訓練が始まりました。城北畑小学校と幼稚園の子どもたちが、緊張した面持ち（おもも）で体育館に入ってきました。頭には、座布団をかぶっています。整然と行動する子どもたちに、びっくりしました。

小学生２人が避難できておらず、探しているとのアナウンス。その後、全員の避難が確認されました。

［指示された通りにきちんと避難できました。］

［阪神・淡路大震災についてのお話を聞きました。］

すでにご存じの方もあると思いますが、避難するときの合言葉をお知らせします。

ふだんの生活では必要ないかも知れませんが、知っていれば役に立つかも・・・。

- お　おさない
- は　走らない
- し　しゃべらない
- も　もどらない

続いて、［６年生による「ひょうご安全の日宣言」の宣誓が行われました。今後の災害に備えた対策の必要性を、力強く訴えました。

♪しあわせ はこべるように ♫ を全員で合唱した後、子どもたちは３つの班に分かれ「防災訓練」を体験しました。

一つは、自衛隊の方による「応急担架の組み立て」です。その様子をご覧下さい。

［完成した担架に大人が乗れると、子どもたちの「ワーッ!」という歓声が上がっていました。］

悪戦苦闘しながらも２本の竹と毛布を使って、見事に担架を作り上げることができました。

そして、子どもたちの作った担架に、大人を乗せることができました。

［水消火器で、火点に向かって水を飛ばす子どもたち。］

続いて、「丹波市防災会」の方々にお世話になり、水消火器を使っての消火を体験しました。

初めて使う子どもたちでしたが、黄色いピンを抜き、ノズルを火点に向けて持ち、取っ手を握って水を飛ばすと、見事倒すことができました。

また、煙が充満した部屋に入って、「煙体験」にも挑戦しました。テントの中は煙でいっぱいで、何も見えません。

中に入った子どもたちは、「真っ白でよく見えなかった。ちょっとこわかった。壁にぶつかって、こけそうになった。」などなど、口々に感想を漏らしていました。

［こわごわ、中をのぞく子どもたち。］

２時間を超える防災訓練でしたが、真剣な面持ちで訓練に取り組む子どもたちは、とても頼もしく見えました。そして、右の３つの精神を忘れずに育ってほしいと思いました。

自助（じじょ）ー自分の命は自分で守る
共助（きょうじょ）ー周囲の人の命も助ける
減災（げんさい）ー被害を減らしていく

幸せなことに、篠山市は本当に災害の少ない所で、防災への関心も人それぞれです。今回、防災避難訓練に参加して、"まず、自分の命を守る"、"防災用品を準備しよう"、"約束を守る"、"協力する" 等の大切なことを学びました。

私は、まちづくり協議会の取材班として、また、愛育班の一員として参加させて頂きましたが、より多くの地域の方々にも体験してほしいと思いました。東日本大震災では、女性の死亡者が多かったことから、特に女性のための防災訓練をしてほしいと思いました。（一般参加者より）

○2月25日（木）
料理講習会 行われる

篠山市役所にお勤めの栄養士さんの山本さんにお越しいただき、「料理教室」が開催されました。

今回は、篠山いずみ会や玉水愛育班との共催で行いました。初めに、山本さんのお話を聞き、わたしたちの健康はわたしたちの手で守っていきたいと言われたことが印象に残りました。

山本さんより
「知ろう！つくろう！つなげよう！『子どもたちへ伝えたい、篠山の郷土食』」
と題してお話いただきました。

続いて、調理室に移動して、黒豆ずしや鶏肉のマスタード焼き、粕汁などの５品を作りました。手際よく調理される姿に感心するばかりでしたが、男性もやってみると意外とできそうで、家庭でもできないこともないなと再認識しました。

そして、出来上がった料理に舌鼓を打ちながら、楽しいお話に花が咲いていました。

炒めたり和（あ）えたりして、みるみる出来上がりました。

［とてもおいしくいただきました。］

孫に、「おばあちゃん、茶碗蒸（ちゃわんむ）しを作って。」と言われるのがうれしいです。

さすがに学校給食では食べられないので、家庭で食べたいようです。本当は、お母さんが作ってくれたらいいのですが・・・。というようなお話を聞きました。

○しいたけ栽培活動に取り組みました

切り倒した木の枝を払い、適当な長さに輪切りしました。

昨年度に続き、１１月８日（日）、２２日（日）、１２月６日（日）の３回に渡って、取り組みました。

［チェーンソーを使っての木の伐採は、けがをしないように細心の注意を払って行われました。］

まず、丸山地区の山林で、コナラやクヌギの原木の伐採作業に取り組みました。急な山肌での作業は困難を伴いましたが、何とか５～６０本の原木を確保することができました。

［ドリルを使って、
ほだ木に穴を開けました。］

そして、2月２７日（土）に、椎茸菌を植え付けました。今年は、椎茸だけでなく、ひらたけやなめこの菌も植え付けました。

幸い好天に恵まれ、また多数の参加を得て、「たくさん採れたらいいね。」などとおしゃべりしながら作業が進められました。２年後の収穫が楽しみです。

来年度４月から、

「農業体験活動」を始めます

野菜を育ててみたい方に、休耕田を有効活用しての農業体験活動の場を提供します。貸農園ではありませんが、野菜の栽培をやってみたい方を募集しています。詳しくは別紙をご覧いただき、ご応募下さい。

なお、この活動に伴う畦（あぜ）の草刈りや定期的な見回り、体験活動者への援助などをしていただくボランティアの方も同時に募集しています。空いたお時間や可能な範囲でのお力をボランティアとして、まちづくり協議会の活動に提供していただけませんか。

「農業体験活動」を通して、城北地区のまちづくりを一緒に進めませんか。
積極的なご参加をお待ちしています。